

# たかはた 議会だより

No. **154**

令和4年1月20日号  
発行／山形県高島町議会  
編集／議会広報特別委員会



▲ぺったんぺったん昔ながらのおもちつき（二井宿地区 おちゃ子屋）

## 主な内容

- 定例会のあらまし ..... 2～3
- 委員会審議 ..... 4～5

- 一般質問 ..... 6～12
- 閉会中の所管事務調査 ..... 13
- 私の思い ..... 14

令和3年度  
補正予算

# 子育て世帯へ臨時特別給付金など 一般会計総額123億851万円に

12月  
定例会  
12月1日~10日

## 補正予算 <おもな事業>



●出産支援給付 710万円



●高畠産米次年度応援 1535万円



●子どもの居場所づくり運営支援 40万円



●住宅リフォーム支援事業 500万円

### 臨時議会

一般会計補正予算 1324万円追加

<主なもの>

- 農林業災害・経営安定対策利子助成… 12万円
- 雇用調整助成金申請支援……………200万円
- 教育 / 学校情報教育用・電子黒板… 100万円
- 教育 / 中学校管理用・除雪機…… 54万円
- 教育 / コロナ感染症に伴う修学旅行  
キャンセル料補助…… 417万円



▲子どものためにどう使う

- 条例**
  - ◆令和3年度水道事業会計  
収益的支出 392万円追加
  - ◆令和3年度病院事業会計  
収益的支出 1341万円追加  
資本的支出 147万円追加
  - ◆令和3年度一般会計予算  
6億4233万円追加
  - ◆法定外公共物管理条例の一部改正
  - ◆放課後児童クラブ条例の設定  
以上詳細5ページ
- 人事**
  - ◆固定資産評価審査委員会委員  
同意 高畠 山村 靖子 氏
  - ◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
  - ◆国民健康保険税条例の一部改正  
以上詳細4・5ページ
- 専決処分**
  - ◆道路上のポットホールによる  
車両損傷事故に伴う損害賠償  
金 1万7978円
  - ◆職員の職務の宣誓に関する条  
例の一部改正
- 補正予算**
  - ◆町道の構造の技術的基準等を  
定める条例の一部改正
  - ◆道路占用料徴収条例の一部改  
正
- その他**
  - ◆字の区域及び名称の変更  
詳細5ページ

12月定例会および臨時会（10月21日）を開催し、専決処分の報告、人事案件、令和3年度補正予算、条例の改正などについて審査し、原案のとおり可決した。また6名の議員が一般質問を行った。

予算特別委員会

令和3年度

補正予算

一般会計

固定資産税

○ 令和2年度は4%の増額補正があったが、今年度は増額とならないのか。

○ 固定資産税については、今年度コロナ禍による減免の特例措置があったため、増額とならない。

健康管理システム

○ 健康管理システム改修業務は、マイナンバーカードを利用して情報を標準化し、検診結果を活用する国の施策であるが、町民の健康管理にとって何が

有利となるのか。

○ 健康管理推進法の改正によるもので、現在は紙ベースでの検診結果の情報を提供しているが、システム改修により過去の検診履歴を振り返ることができるようになる。

○ マイナンバーカードを取得しているか、していないかで変わってくるのか。

○ マイナンバーカードを取得していることが前提である。

生活支援特別給付金

○ 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金経費が200名分ほど減額されているが、どのような理由か。

マイナンバーカード



また、この特別給付金制度をどのように周知したのか。

となったのは、年度途中で緊急性が高まったためか。

○ ひとり親世帯の196人分を減額対象にしたものであるが、新たな申請分を多めに見込んでいたためである。町で把握している方は、7月に自動的に口座に振り込まれている。周知に関しては、町報や児童手当の申請などの機会に伝えてきた。

○ 当初の予算より、防火水槽の設計価格が高くなったためである。

消防施設費

○ 工事請負費が追加

○ 武道館内の男女トイレの洋式化と手洗場の抗菌対策および小便設備のセンサー化である。

特別会計  
介護予防生活支援サービス

○ 第1号通所介護事業と通所サービスAの利用者の違いは。

○ どちらも要支援を受けている方の利用だが、第1号通所介護サービスは、要介護者も利用する入浴付きのデイサービスがほとんどで、軽度要支援者の場合、入浴介助ではな

く運動機能の向上や社会交流が目的であり通所サービスAの利用が多くなっている。

○ 2つのサービスの利用判断は、誰が決めるのか。

○ 地域包括センターの職員や委託業者のケアマネージャーが担当して、本人や家族と相談して決めている。

総務文教委員会

条例

押印の廃止

○ 押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の設定  
行政手続きの簡素化、町民の利便性向上のため、

め、各種書類への押印を廃止するもの。  
左記条例の一部を改正する。  
① 固定資産評価審査委員会条例  
② 火入れに関する条例  
公布の日に施行

その他

字の変更

○ 字の区域及び名称の

変更  
屋代川河川敷内の字名を石ヶ森、西北目、中川原から全て川辺に変更するもの。  
公有地であるため、町民への影響はない。  
以上の案件は全会一致で可決した。

産業厚生委員会

条例

自動運行補助施設

○ 町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正  
政令改正に伴い、交通安全施設に自動運行補助施設を追加するもの。  
公布の日に施行

学童保育サービスの平準化

○ 放課後児童クラブ条例の設定  
放課後児童クラブの事業主体を町とし、全クラブの利用および利用料金を統一し、提供サービスを平準化するもの。  
左記のクラブを対象とする。  
公布の日に施行

公有地占用料の改正

○ 道路占用料徴収条例の一部改正

○ 法定外公共物管理条例の一部改正  
政令改正に伴い、町道および法定外公共物の占用料を改正するもの。また、占用施設に自動運行補助施設を追加するもの。  
公布の日に施行

○ 遊学舎子ども村

○ 運営委託した施設が老朽化したときの改修など、町はどのように関わるのか。  
○ 小学校内で運営す

放課後児童クラブ通常利用料金（月単位での利用）

| 利用区分       | 利用する児童     | 児童1人当たりの利用負担金（月額） |        | 納期限  |
|------------|------------|-------------------|--------|------|
|            |            | 1～4年生             | 5・6年生  |      |
| 月曜日から金曜日まで | 1人目        | 8,000円            | 6,000円 | 当月末日 |
|            | 同一世帯で2人目以降 | 6,000円            | 4,000円 |      |
| 月曜日から土曜日まで | 1人目        | 10,000円           | 8,000円 |      |
|            | 同一世帯で2人目以降 | 8,000円            | 6,000円 |      |

月の途中で利用を開始し、または利用を終了した児童の場合は、日割りにより算出した額とする。  
なお、算出した額に10円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てた額とする。

○ 押印の見直しに関する条例は他にもあるのか。  
○ 他に該当する条例はない。

○ 押印の見直しに関する指針を出している。

○ 職員の仕事の宣誓に関する条例の一部改正  
会計年度任用職員の勤務の宣誓の追加および宣誓書への押印を廃止するもの。  
公布の日に施行

○ 宣誓書には署名が必要と思われるが、条文からは署名と押印が削除されている。署名は残すべきではないか。

○ 国の指針としては、宣誓書への署名、押印が不要となるため、条

文から署名、押印が削除されることになる。当町としては、公務員となる自覚を持ってもらうため、宣誓書に署名するよう運用する。

職員の不妊治療休暇の新設

○ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
国家公務員の不妊治療休暇新設に合わせ、同休暇を新設するもの。  
公布の日に施行

未就学児の国保税の軽減

○ 国民健康保険条例の一部改正

○ 子育て世帯の経済的負担軽減のため、未就学児の均等割り保険料を5割軽減するもの。  
公布の日に施行

○ 以上の案件は全会一致で可決した。



直島義友 議員

## 置総病院までデマンド運行を

町長 行政区域外への運行は慎重を要する

○ 1日約100名の町民が置総病院を利用している。移動手段を持たない方にとって、通院費用は大きな負担となっている。同病院までデマンドタクシーを運行拡大できないか。

○ 行政区域を越えての運行は、民間の交通事業者の営業内容に影響を及ぼすこととなる引き続き慎重に検討していく。

○ 本件については、以前の一般質問で「置賜定住自立圏構想の中で検討していく」との回答があった。その後の検討状況はどうか。

○ 定住自立圏構想に



▲運行の拡大が求められるデマンドタクシー

も示されているとおり、県が策定する「山形県地域公共交通計画」の策定に参画し、令和3年3月に完成している。この計画を軸に検討を進める。

○ 同病院までデマンドタクシーを試験運行

し、需要や採算を調査してはどうか。

○ 置賜管内で既に実証実験を行っている自治体があるが、コロナ禍の影響から正確な実証結果が得られていないと聞いている。時期を見て検討したい。

具体的促進策

○ 移住定住促進のための具体的な取り組み

○ 移住される方はそれぞれ異なる要件や希望を持っている。いかに町が魅力的であるか、さらには、どのような支援を望まれているのか、しっかりと伺いながら対応していきたい。

# 町政を問う

## 6名の議員が質問に立つ

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずめるものである。

※次ページからは一般質問の要約であり、詳しくはホームページをご覧ください。

- 直島義友議員 …………… 7
  1. デマンド交通  
運行範囲拡大について
  2. 若者の移住定住促進を
- 菊地英雄議員 …………… 10
  1. 生活に欠かせない安定した水道事業の継続を
  2. 安全に通行できる生活道路の保全整備を
- 数馬治男議員 …………… 8
  1. 生活排水対策について
  2. 中学校の通学路整備について
- 山木由美議員 …………… 11
  1. 身体が不自由な人でも利用できるデマンドタクシーを
  2. 若者支援と合わせた  
孤立防止策
  3. 病児保育所の早期設置を
- 伊澤良治議員 …………… 9
  1. 地球温暖化と農業
  2. 今後の高畠町の農業について
  3. 全国で起きている中学生の自殺といじめについて
- 秋葉晶子議員 …………… 12
  1. 地域包括ケアシステムの  
しんちよく  
進捗は

高畠町議会動画配信 検索





伊澤良治 議員

# 10年先の農業の予測は

町長 スマート農業で大きく変わると考えられる

町 町の農業は家族農業経営が95%以上である。環境保全型、持続可能な農業が世界的に

## 家族農業への支援策は

農業従事者数は減少することが予測される。今後、AIやICTなどを活用したスマート農業の普及・発展により、10年後の農業は大きく変わるものと考えられる。

町の農業従事者や樹園地はここ30年で半減しており、今後も減少ペースは加速することが予想される。10年先の町の農業をどう予測しているか。



▲基盤整備が求められる田んぼ

求められている今、その担い手である家族農業経営への支援策は。

国の補助事業は依然として規模拡大が主となっている。家族経営のうち中小規模に特化した支援策に期待したい。町独自の支援策も検討する。

## 大規模農業の課題解決を

農業機械などの設備投資への負担軽減を図るよう、国等の補助事業の活用・採択に向けた支援を実施する。基盤整備事業は土地改

大規模農業は地域の離農者の農地を預かり耕作し、地域農業を支えている。一方で、農地の集約や基盤整備などの課題もある。課題への取り組み強化策は。

## いじめを止める力の育成を

いじめが起きそうなき、起きたとき「やめろよ」という声が上がると人間関係を育てることが大切と考え

いじめ発見調査アンケートとQUTテストの実施、日常の観察のほか、中学校では「生活の記録」により、いじめの早期発見・早期対応につなげている。

いじめが原因と考えられる中学生の自殺が起きている。いじめは命につながる見逃すことのできないものである。命最優先の共通認識のうえに早期発見対策にどう取り組んでいるか。

## 早期発見対策は

良区と連携し、採択に向けた要望活動を行う。

さまざまな学校行事や学校生活における主体的に取り組む協働的な活動を通して、強い絆で結ばれた人間関係を育むことが重要だと考える。

## 保護者、教員、学校の連携強化を

保護者、教員、学校が三者一体となって、子どもの様子や変化を見守り、真剣に頑張っている姿を示していくことが大事である。三者連携の取り組みをどう進めているか。

PTA総会や保護者会などの場で協力や理解を仰ぐとともに、親子での研修会等も行いながら、子どもの様子を把握している。



数馬治男 議員

# 下水道への接続率は

町長 9割強である

下水道へ接続していない世帯数は、約500世帯となっており、接続率については91.3%となっている。今後の普及推進策として、「広報たかはた」での呼びかけや、支援制度を含めた個別への意向調査を検討していく。

## 下水道事業の一本化

下水道事業は今後、

町の生活排水対策は、下水道、農業集落排水（ミニ下水道）、合併浄化槽の3事業で取り組んできた。事業着手から48年が経過した下水道は、今も厳しい経営が続く。下水道へ接続していない世帯数と接続率および今後の普及推進策は。

「下水道ビジョン」では、管渠の耐用年数（50年）にはあと3年で到達する。効率的な維持管理で70年まで延伸できるとの見解もある。適切な維持管理で、長く使用できるようにするには、実態把握と長寿命化対策が不可欠と思うがどうか。

下水道管渠の状況を把握するため、幹線管渠の12キロメートルをテレビカメラにより調査を実施した。長寿命化対策として、調査結果を基にストックマネジメント計画により、管渠の修繕改築やマンホールの蓋の更新工事を実施していく。



▲下水道管内部のカメラによる状況確認

少子化や人口減少を考えると効率的な運営を目指す必要がある。農業集落排水施設（中和田および竹森時沢地区）の下水道への一本化も必要と考えるが、今後の一元化へ向けた計画は。

中和田地区は、令和17年度まで下水道へ接続するため、計画の策定や工事の実施を行う予定である。竹森時沢地区についても下水道へ接続することが望ましいと考えているが、令和7年度に整備計画の見直しで

県では、飯森交差点から南へ測量が始まったが今後の整備計画は。またそれ以外の今後の整備方針は。

## 県道浅川高島線の自歩道整備

「県道米沢浅川高島線（飯森・入生田）の自歩道整備が進まないのはなぜか」と9月の一般質問を行ったところ、県では、堆雪帯として両側の路肩拡幅を整備する予定とのことであった。

飯森交差点から南へ測量が始まったが今後の整備計画は。またそれ以外の今後の整備方針は。

橋を含めた南側については未定であり、町重要事業要望として継続し県と協議を行っていく。

検討していく。



菊地英雄 議員

# 水道事業が良好な要因は

町長 無駄なく水を供給できているため

問 今年3月策定した「水道事業経営戦略」で、町の水道経営は全国平均や類似団体と比べおおむね良好と見ているが、その背景と要因は。

答 経常収支比率が115%と高く、収入では料金の未収金を減らす対策と、支出では修繕費用や需用費等の抑制を図っている。

また、有収率が96%と非常に高く、無駄のない水の供給が図られていることである。

## 町単独による戦略の方向とは

問 老朽化した配水管の更新が本格的に始ま

り、今後は人口減少や水道施設設備の維持経費の増大も予測される。戦略では今後20年間今の水道料金を維持し、純利益を得ながら町単独での健全経営が可能という予測である。

その根底となる取り組みの方向、さらに計画と合致しない事態への検証と対応方法は。

答 昨年度策定した「経営戦略」では、老朽化した配水管を毎年2キロメートル程度更新する計画である。今後、料金収入は減少していくが、自己水源を維持しながら給水単価を抑え、支出の抑制も図り健全経営をしている。

また、経営戦略は5年ごとに検証・評価を行うので、令和8年度に見直しを予定している。町民への周知は町ホームページへの掲載を行う。



▲計画的に進められている老朽化した排水管の更新工事

生活道路の損傷把握と修繕は

問 日常の生活道路で舗装面に穴が開く等の破損が見られるが、安全に通行できるように町道の現状をどう把握し、計画的に修繕等の対応をしているのか。

答 建設課職員によるパトロールのほか、通行者からの連絡や郵便局の通報協力により、日常修繕を行っている。劣化が見られる一定区間の修繕は、路面調査の結果に基づき、計画的に実施している。

## 公開すべき整備の優先基準

問 各集落等から道路の整備要望に対し、かつて町長は事業の重要度や評価基準で点数化

し優先度を決めていると答えている。その基準内容と審査の手順等を公開すべきでないか。

## 私道整備など支援補助の考えは

問 町道の認定基準に沿わない私道等で、特に日常的に数戸が利用する区間を住民自らが修繕等を行う場合などに、補助制度を考えるべきではないか。

答 私道に関しては、将来的な大規模修繕が課題となっている。補助制度については、現状等の調査を行い対応を検討していく。

# デマンドタクシー 車椅子用の福祉車両導入を

町長 現在、導入予定はないが調査・検討する

問 当町のデマンドタクシーは自分で乗り降りできることが条件となっている。障害者手帳や要支援、要介護の認定を受けていないが、歩行などに不安を抱えている人々は助成金などのシステムのはざまにある。そして車いすを利用している人にも、もっと自由に外出できる環境を整えるために福祉車両を使用したデマンドタクシーを導入すべきと思うがどうか。

答 福祉車両を導入する場合は、台数を増やす必要や運行方向の検討が必要であり、現在のところ導入予定はないが、利用者のニーズを踏まえ、移動支援や

## 移動支援事業の現状は

問 移動支援事業は

答 移動支援事業は介助者がいらず、一人で移動できる人が対象となっている。医療的ケア児など医療処置が必要な場合は利用できない。現在の支援体制は。

問 医療的ケアが必要

な方については、看護職等の支援が必要となるため、県および国の制度を活用し対応する。

## タクシー助成の利用券

問 障がい者支援でタクシー券(500円)が1年で24枚助成されているが、1か月2枚しか利用できず、外出支援にはつながっていない。24枚になっている根拠は。

## 若者などに孤立防止のメッセージを

問 コロナ禍で、自殺者が11年ぶりに増加し、特に女性や若い世代が増えている。

高島町らしい心のもった支援物資など、孤立防止策となるメッセージや相談窓口の案内等を同封し、支援を

## 介護者に対するデマンド割引

問 概ね、月1回の通院での利用を想定している。

答 介護者とともにデマンドタクシーを利用した場合、介護者は通常料金を支払うが、JRなどでは介護者は半額となる。当町にも介護者割引引きを導入してはどうか。

問 町民のニーズを調査しながら検討していく。

## 病児保育所設置の状況は

問 「第2期子ども」

答 コロナ関連の支援施策については、公平に求められるべきところに必要なモノ、との思いで実施している。物資による支援については疑問な点もあり、引き続き検討する。

問 現在、計画に基づき実現できるよう、設置場所の選定を含め、委託先の選定や医師会との協力等、調整を図りながら進めている。



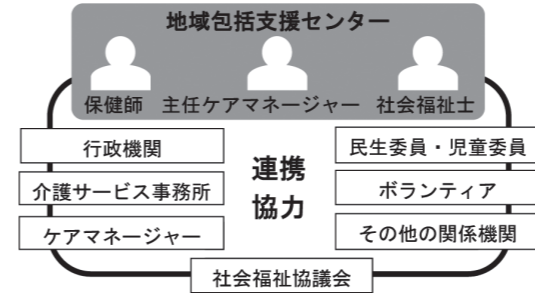
▲頼れるミカタ！病児保育所



秋葉晶子 議員

# 地域包括支援センターの機能強化を

## 町長 運営の委託も視野に検討する



○ 地域包括ケアシステムの構築のほかにも、包括支援センターが担っていることがさまざまなあり、その重要性は高まる一方である。職員配置や専門職の増員など今後の体制強化の計画は。

○ 平成18年から直営

○ 平成12(2000)年から始まった介護保険制度は、3年ごとに見直しながら今日まで運用している。町としてのサービス提供の充実や事業展開の考えは。

○ 団塊の世代が後期高齢となる今後を見据え、更なる介護予防の推進と包括的な支援の充実を図っていく。

○ 設置している地域包括支援センターは、ワンストップサービス相談窓口として対応し、課題の把握と関係機関との連携によりその解決を図っている。今後は、組織強化のため、運営の委託も含めた検討を行っていく。また、人材不足の中、厳しい状況であるが、必要な専門職は今後も継続して確保していく。

### 町としてのサービス提供は

○ おむつ券支給の拡充を

○ 在宅介護と一時的入院の場合だけでなく、住宅型の施設に入居した場合も支給対象にしてはどうか。

○ ニーズ調査を実施しながら、次期の高齢者福祉計画・介護保険

○ 生活支援サービスの考えは

○ 高齢者夫婦世帯、単身高齢者世帯では、外出等の日常生活もままならず、生活の質の低下が心配される。どのような生活支援サービスを考えているか。

○ 今後、各地区に設置される生活支援体制整備のための協議体を中心に、その地域に合った支援の在り方等について検討し、実施していくこととしている。

○ 生活者の目線で高齢者移動支援

○ 現在のデマンドタクシーだけではカバーできない課題を、町民のニーズに合わせて介護保険事業に取り入れて支援策を考えてみてはどうか。

○ 介護保険事業として行うということは、保険料に直接的に反映されるため慎重に検討していく必要がある。今後、その地域の実情に合わせた移動支援について、生活支援体制整備をする中で検討していく。



▲高齢者の暮らしをサポートする包括支援センター（げんき館）

# 閉会中の所管事務調査

(令和3年10月から11月までの調査)

## 総務文教

### 旧一中体育館の再開見通し

○ 旧一中体育館の利用希望があるが、再開の見通しはどうか。

○ 新庁舎建設に伴ない倉庫を解体するため、当面は荷物の保管場所として使用する。再開の見通しは立っていない。

### 公共施設の管理計画

○ 新庁舎建設、小学校の適正規模検討の答申が公共施設管理計画に反映される時期は。

○ 庁舎建設前倒しのため、計画を全体的に見直す必要がある。ま

た、答申を踏まえた具体的な計画はこれから立てることになる。今年度中には大枠しか示せない。

### 中学校の地盤沈下

○ 地盤沈下により外壁にひび割れが入っているが、その対処は。

○ 杭打ちしていない校舎周りの駐車場が沈下しているが、間もなく収まる見込みである。収まりしだい対応する。

### 緊急事態宣言解除後の学校行事

○ 解除による修学旅行、部活動等の学校行事への対応は。

○ 県の行動指針に従い行事を開催している。

○ 県境を越えた移動制限が解除され、県をまたぐ大会も再開されている。

### 小中学校の抗原検査キット

○ 配布された検査キットの利用状況は。

○ 使用には養護教諭の指導が必要であり、緊急時のみ使用する。基本は医療機関での受診である。当町を含め、置賜圏内での使用実績はない。

### 産業厚生

### ワクチン接種

○ 3回目の接種計画は。

○ 2回接種済みの方に順次案内する。8カ月経過後の2月中旬から開始予定である。

### 待機児童の状況

○ なごみこども園が新しくなり、町内施設の定員数に応じて希望どおりになっているか。

○ なごみこども園は改築の際に定員を増やしているが、それ以外の施設に定員の増減はない。待機している乳児や園児もいない。

### スマートIC

○ 地権者等への説明会での反応はどうか。

○ 総じて、協力の意向であった。説明会には、案内した約半数の方が出席し、欠席者には会議録を送付した。

### 米価下落対策融資

○ 償還期限が1年だ

事業計画策定の中で検討していく。

### 生活者の目線で高齢者移動支援

○ 現在のデマンドタクシーだけではカバーできない課題を、町民のニーズに合わせて介護保険事業に取り入れて支援策を考えてみてはどうか。

○ 介護保険事業として行うということは、保険料に直接的に反映されるため慎重に検討していく必要がある。今後、その地域の実情に合わせた移動支援について、生活支援体制整備をする中で検討していく。

○ 介護保険事業として行うということは、保険料に直接的に反映されるため慎重に検討していく必要がある。今後、その地域の実情に合わせた移動支援について、生活支援体制整備をする中で検討していく。

○ 状況に応じ延長する考えはないか。

○ 県の制度なので県の判断となる。市町村も財源負担しているのでも、必要があれば要請する。

### 産業振興センター

○ コワーキングスペースを拡張するが、今後の入居予定は。

○ 入居予定はない。さまざまな分野に呼びかける。

### 雇用調整助成金の申請補助

○ 延長の考えはあるか。

○ 県内の雇用情勢などから判断する。

## 議員研修

山形県町村議会議員研修会 令和3年10月20日

- まちづくり・地方創生成功のカギ  
中央大学法科大学院教授・弁護士 野村 修也 氏
- 岸田新政権発足、どうなる衆院選とその後の政局展開  
政治ジャーナリスト 泉 宏 氏

南陽・高島議員交流会 令和3年11月2日

- 頭と体の体操 南陽市すこやか子育て課
- スポーツ交流 グラウンドゴルフ

議員研修会 令和3年11月15日

- 一般質問スキルアップ研修  
(株)地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦 氏

## ボランティアからのまちづくり

私も昔は、誰かが、役場の人たちが、高畠町を作っているものだと思っていました。

そんな私もボランティア活動を初めて13年程経ち「青竹ちょうちん祭り」等、町のイベントに多数携わらせていただいております。

始まりは「おれたちにまかせろ未来宣言実行委員会」に誘われたのがきっかけ

でした。それまで町の活動に関わってこなかった私を快く受け入れていただき、多くの経験をさせていただきました。

特にメンバーと「東日本大震災」時に石巻市十三浜地区で災害支援「清掃活動」の後、チャリティーLIVE『響魂』を立案から実施を1か月の短期間で実行し、その後のイベント活動の基盤となったのだと思い出されます。

その後も多くの仲間を支えられ、若者まちづくり団体「おれまか」にて若者目線のまちづくりをテーマに活動を共にしてきました。

現在は、家業「メガネのオオツカ」に戻り、福祉のまちづくり推進委員や青少年育成委員の経験から、今までとは視点を変え、若者支援団体「たまなび」を中心に、ボランティア活動で、高畠町を若者が住みやすくなるように尽力していきたいと思っています。



▲若者支援に励む大塚栄一さん

前回153号の「私の想い」において、寄稿者のお名前は荒井幸雄さんではなく荒木幸雄さんの誤りでした。訂正しておわび申し上げます。

委員長  
副委員長

編集委員

秋平 鏡伊 菊地  
平澤 葉良 善晶  
子誠 弘治 雄介

3月定例会を傍聴しませんか

3月3日(木)~18日(金)の予定です

議会事務局 TEL 52-4485

(気軽にお問い合わせください。)

